

2050年の兵庫の姿

誰もが希望を持って生きられる

一人ひとりの可能性が広がる

『躍動する兵庫』

5つのめざす社会

I 自分らしく生きられる社会

- ① 自由になる働き方
- ② 居場所のある社会
- ③ 世界へ広がる交流

II 新しいことに挑戦できる社会

- ④ みんなが学び続ける社会
- ⑤ わきあがる挑戦
- ⑥ わきたつ文化

III 誰も取り残されない社会

- ⑦ みんなが生きやすい地域
- ⑧ 安心して子育てできる社会
- ⑨ 安心して長生きできる社会

IV 自立した経済が息づく社会

- ⑩ 循環する地域経済
- ⑪ 進化する御食国
- ⑫ 活動を支える確かな基盤

V 生命の持続を先導する社会

- ⑬ カーボンニュートラルな暮らし
- ⑭ 分散して豊かに暮らす
- ⑮ 暮らしの持続に貢献する産業

<2050年の兵庫の姿>

2050年頃までに実現をめざす兵庫のなりたい姿は、「誰もが希望を持って生きられる 一人ひとりの可能性が広がる『躍動する兵庫』」です。

「誰も取り残されず、みんなが希望を持って生きられる」という意味での「包摂」と「思い思いのチャレンジができ、一人ひとりの可能性が開ける」という意味での「挑戦」、この2つを車の両輪にして「躍動する兵庫」を実現していきます。

<5つのめざす社会>

I 自分らしく生きられる社会

新しい価値観が広がり、より自由な暮らし方、働き方を求める人が増えています。多様な選択肢の中から自分の意思で未来を選び取れる社会になっています。みんなに居場所と役割がある地域、国内外との活発な交流が行われる地域になっています。

II 新しいことに挑戦できる社会

寿命が伸び、何を大切にして生きるのかを多くの人々が自問するようになります。いろいろな経験ができ、一人ひとり異なる人生の道筋を描ける社会になっています。教育の形が変わり、生涯を通じて学び続け、新しいことに挑戦し続ける人が増えています。

III 誰も取り残されない社会

どんなに科学技術が進化しても、最後に大事になるのは、人とのつながりであり、人の温かみです。過剰な効率化や競争の中で見過ごされてきたつながりの大切さが再認識され、属性に関わらず、誰も取り残されることなく安心して暮らせる社会になっています。

IV 自立した経済が息づく社会

世界を覆うデジタル経済、広がるシェアリングエコノミー。そうした中で持続可能な経済社会をつくる取組が進められています。地域に根付くものづくり産業を中心に、食、農、エネルギー、文化など生活に密着した産業が成長し、地域の中で価値が循環する自立的な経済圏が形成されています。

V 生命の持続を先導する社会

資源の再利用やエネルギー自立の取組が進められ、カーボンニュートラルな暮らしが根付いています。自然に囲まれた生活を志向する人が増え、兵庫の多様な地域性を活かした豊かな暮らしが各地で営まれています。人類の持続可能性を高める産業が県内に集積し、新しい基幹産業になっています。